

特集 よなごのすいどう



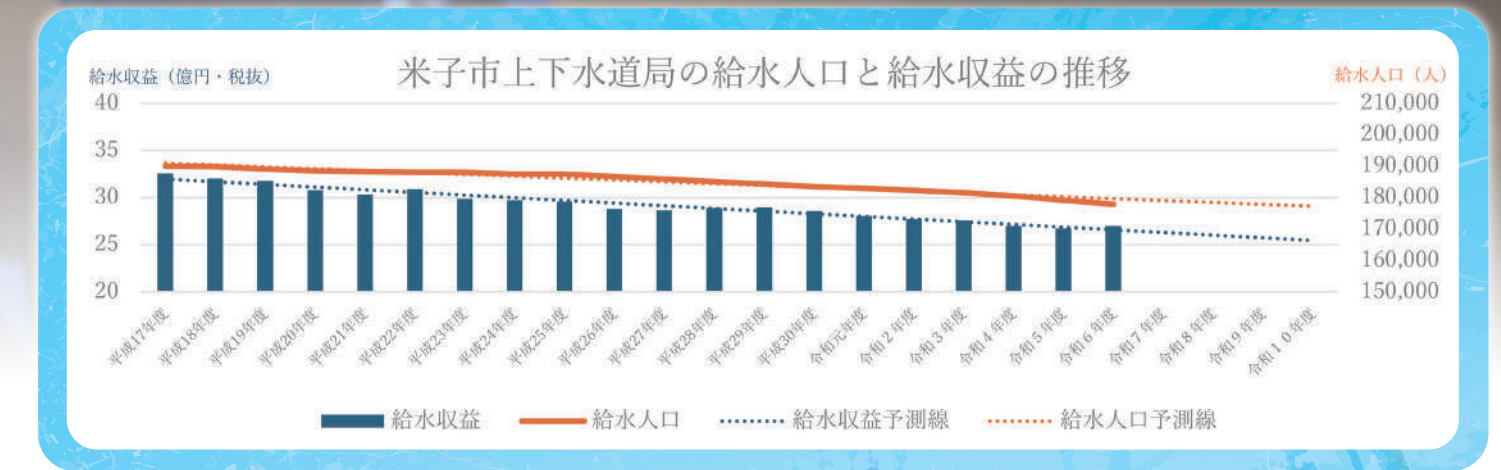
コップ1杯の 水道水の価格 知っていますか？

コップ1杯の水道水(200ml)を米子市上下水道局の標準的な水道料金に換算すると0.0222円です。非常に小さくて分かりにくいので、1円分の量にして表すと、コップでは約45杯分、9Lという量です。

コンビニやスーパーに売られている500mlペットボトルの水が100円前後なのに比べて、実に安価であることがわかったと思います。

今回の「よなごのすいどう」では、日本の水道のスゴイところは、中でも米子の水道水の素晴らしさに触れつつ、人口減少や節水機器の普及、施設や管路の老朽化により、この安価な水道料金のあり方について検討を迫られている現状をお伝えします。

4. 水道の危機を知る



みなさんのご意見をお聞かせください。

令和8年3月に水道事業の10年間の計画を示した「米子市水道ビジョン2025」を策定しました。その中で、財政の見通しでは**令和10年度に15.8%の料金改定**を想定しています。

現時点ではまだ想定の話ですが、このまま給水収益が減少し、必要な更新や修繕が増える場合は、水道料金の改定を行う可能性があります。

広報「よなごのすいどう」では、3回にわたって「水道事業が100周年を迎えること」、「安全、強靱、持続の取り組みのこと」、「水道の現状について」をお伝えしてきました。米子市上下水道局では、給水区域のみなさんから、これらのお伝えしてきた内容について率直なご意見を伺いたいと思っています。

「水道料金について」のことから、広報「よなごのすいどう」について、その他水道事業についてなど、広くご意見をいただければと思います。

QRコードもしくは下記URLからとっとり電子申請サービスを利用して入力していただくか、下記メールアドレスに直接メールをいただく、FAXなどで募集します。

みなさんのご意見をお待ちしております。

メールアドレス suido-senryaku@city.yonago.lg.jp

FAX番号 0859-23-3530



とっとり電子申請サービスQRコード



たくさんのご意見をお待ちしているのだ。厳しい意見から励ましを受け止めるのだ。

https://apply.e-tumo.jp/city-yonago-tottori-u/offer/offerList_detail?tempSeq=19508

※いただいた意見の概要を審議会等で説明することがあります。

人口減少の影響をうける給水収益

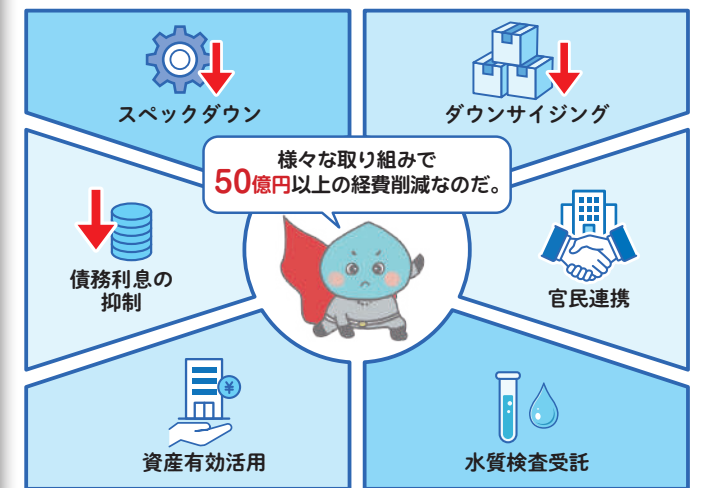
上のグラフは、平成17年度からの米子市上下水道局の給水人口と給水収益の推移です。年々給水人口が減っていることに連動するように、給水収益も平均すると年間3,000万円ずつ減少しています。3,000万円は、年間の給水収益の1%強にあたり、今後この減少が同様に続くかと仮定すると、水道事業を運営していく資金が足りなくなってしまう。

経営努力で据え置いてきた水道料金

米子市上下水道局では、平成6年4月に14.61%の料金値上げを行って**以来31年間**、消費税の改定を除いて水道料金を据え置いています。

米子市水道事業経営戦略(令和2年作成)では、財政計画において「現在の状況では、令和6年に収益的収支において純損失が発生するため、令和7年に17.8%の料金改定を行う設定」と記述しており、料金改定を見込んでいました。

経営戦略策定後も様々な経営努力を行い、令和7年時点での料金改定は行いませんでした。



お問い合わせは ▶ 米子市上下水道局経営企画課 ☎0859-32-9915

▶ suido-senryaku@city.yonago.lg.jp

米子市上下水道局URL ▶ <https://www.city.yonago.lg.jp/suido/>



ホームページ



公式X



公式YouTube

2. よなごの水を知る

日本でも有数の水の美味しい街よなご

よなごの水は、大山で育まれた地下水を主な水源としており、原水の水質が非常に良好なため最低限の消毒を行い水道水としてお届けしています。

全国的にも、鳥取県の水道水は美味しいと評価されていて、昨年もテレビで取り上げられました。

適度なミネラルバランスと良好な水質が、美味しい水を作り上げています。

地元の方は蛇口から、

なかなか蛇口から飲めない方にはペットボトル水「よなごの水」

米子市上下水道局では、米子市の水道水のおいしさをPRする為、平成17年から、ペットボトル水「よなごの水」を製造販売しています。現在のラベルデザインは、前面に「国史跡 米子城跡」を中央に配し、周囲に米子市の名産品や観光スポットを散りばめており、背面には、米子城跡から見えるダイヤモンド大山のパノラマ写真が目を引きます。



ペットボトル水「よなごの水」について詳しくはこちらから→
(ペットボトル水「よなごの水」のホームページにリンクします)



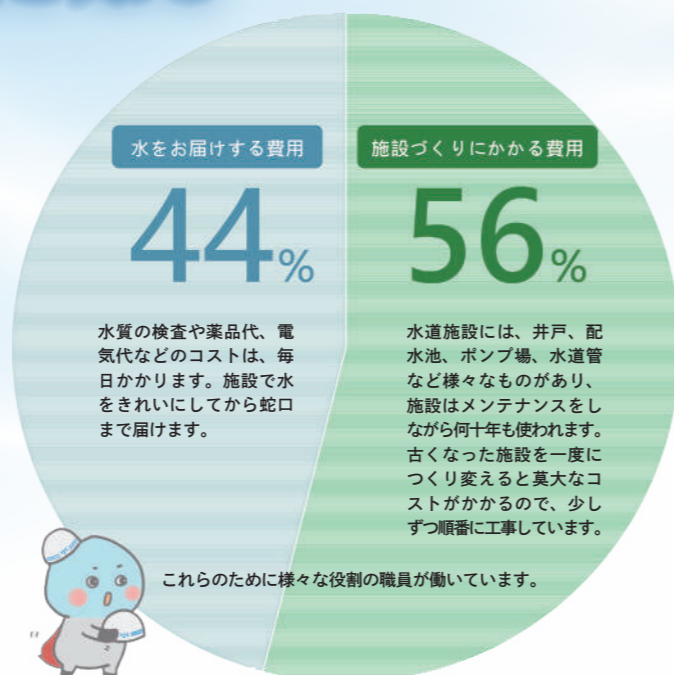
3. 水道料金の使い道を知る

水道料金の半分以上が 施設の整備に使われています。

水道事業の経営に必要な費用は、原則、水道料金で賄うことになっています(独立採算制といいます)。みなさんからいただいている水道料金は、大まかに分けて「水をお届けする費用」と「施設づくりにかかる費用」に使われています。

特に、全体の半分以上が「施設づくりにかかる費用」で、井戸、配水池、ポンプ場、水道管などのメンテナンスや更新に莫大な費用がかかります。

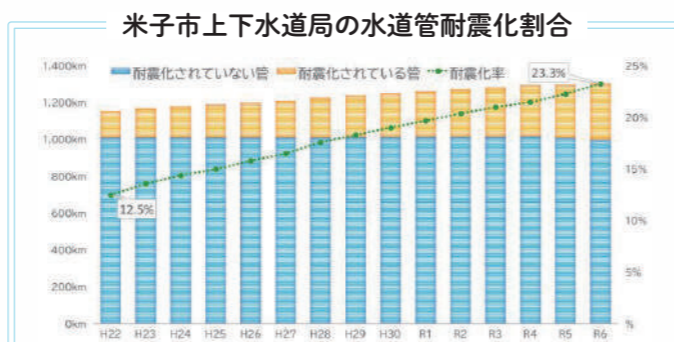
高度経済成長期に敷設、建設された多くの水道管、水道施設は老朽化してきており更新時期をむかえています。加えて、近年の物価高騰、燃料価格の上昇により、更新や修繕に必要な費用は大きくなってきています。



更新を行わないと、どうなるの？

東日本大震災、能登半島地震などの地震災害、台風や線状降水帯による豪雨災害など災害は、いつやってくるかわかりません。そのため水道管や水道施設を更新して耐震化、強靱化することが求められています。

必要な更新を行わないと、老朽化により予期しない漏水や破損が発生したり、災害時に壊れてしまいます。未来に向けて、安心して安全な水道を持続するため施設や管路の更新は欠かせません。



※このページの文章、資料は一部、厚生労働省「今知りたい水道」から引用しています。

水道を知る



日本の水道ってすごい？

水道の水をそのまま飲める国は日本を含め世界でたったの9カ国しかありません。日本の水道は伝染病への対応に始まり、その後、環境の変化に合わせ、水質基準や監視体制が幾度となく見直されてきました。また、利用者の「おいしい水」へのニーズに対応するため、臭味についてもさまざまな取り組みが実施されています。その結果、日本の水道の品質は国外からも高く評価されています。さらに、日本の水道普及率はとても高く、高度経済成長期からの水道の整備促進により、ほぼ全ての地域で水道を使えるようになっています。

※国土交通省「令和7年版日本の水資源の現況」より

1. 水道水の価格を知る

米子の水道水のお値段いくら？

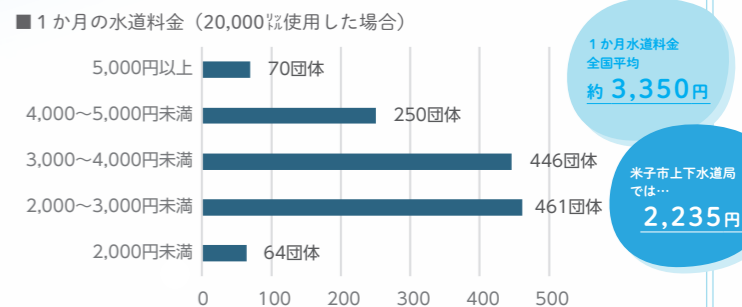
米子市上下水道局の水道水を1か月20,000ℓ使用すると2,235円(税込)です。右表に示すように、これは全国平均と比べて低い価格です。

また、水道料金は、基本料金と従量料金に分かれており、1か月あたり8,000ℓまでは定額の902円(税込)、それ以上の使用量がある場合は、その量に応じて従量料金が加算される仕組みです。

各家庭に設置されている水道メーターによって、2か月に1回、水道の使用量を計測し、水道料金を決定しています。

1か月の水道料金(令和5年水道統計)

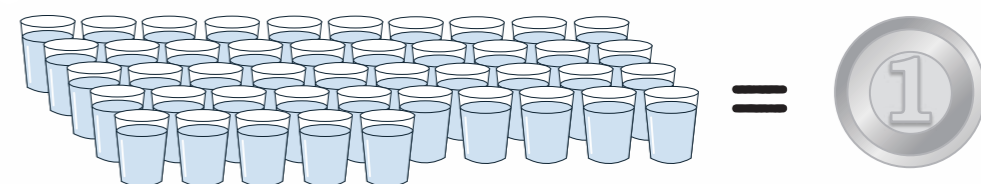
水道料金は、全国平均で水1ℓあたり約0.2円ですが、実際の水道料金は、地域によって異なります。米子市上下水道局では、1ℓあたり約0.1円！



※口径13ミリ又は家庭用で月20,000ℓ(20m)使用(1世帯あたり一般的な使用水量)
※下水道使用料は含んでいません。

米子市上下水道局では...

コップ1杯 0.022円です。



コップ45杯で、やっと1円。



例えばこんな節約術

1日に1本ペットボトル飲料500ml(約150円)を購入しているとして、その飲み物をマイボトルに入れた水道水に置きかえると...
150円×30日=4,500円
水道水だと 0.5ℓ×30日×0.1円=15.1円 つまり 1か月に4,500-15=4,485円お得に！！